

## 5/21 どんぐり開園10周年記念植樹

こどもセンターどんぐりの園庭で、園児約80人が、開園10周年の記念植樹を行いました。保護者と職員でつくる「どんぐりならの会」が、イチョウ、ハルニレ、ヤマモミジの各2本計6本を用意。各組の園児たちが小さなスコップで苗木の周りに土をかぶせました。さらに、鹿の子沢の三本桂の枝から接ぎ木して育てた2本の苗木も合わせて植樹されました。



## 5/30 新国立競技場へ、置戸産カラマツ材出荷

2020東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場で使用される置戸産森林認証材のカラマツ材約31m<sup>3</sup>が、新生紀森林組合の工場から出荷されました。この材は、昭和49年に植林された中里地区の町有林で、平成29年9月～10月に間伐されたもの。森林組合では、今後、カラマツの森林認証材がPRされ、色々な場所で活用、普及することを期待しています。



## 6/4 次世代へ、みどりを育てつなげよう

拓殖の町有林で6月4日、置戸町植樹祭（町、網走中部森林管理署、置戸地区林産協同組合の共催）が行われ、町内の公職者や各団体、地域の代表者など90人が参加しました。この日は、旧鉄道林伐採跡地0.66haに株式会社ゴダイからの提供分を含むカラマツの苗木1,300本を植樹。真夏日となる中、参加者は流れる汗をぬぐいながら、鋤を使って一本ずつ苗木を植え込んでいました。



## 6/12 佐藤幸一氏に藍綬褒章を伝達

北見地区消防組合置戸消防団副団長の佐藤幸一氏は、永年の消防活動の功績が認められ、春の褒章で藍綬褒章を受章しました。伝達式は6月12日に役場で行われ、井上町長から褒章と表彰状が手渡されました。佐藤氏は、昭和56年に置戸消防団に入団、平成27年9月から現職に就任。有志とともに製作し寄贈したミニ消防車「火消し君」は、子どもたちの防火意識の向上に貢献しています。

